



くれ

1039 号
2026 年 10 月 23 日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等からこの
情報が閲覧可！



メールはこちら→

安全最優先とは？



ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

管理能力の欠如 定時最優先と安全最優先

皆さん、今の季節配達しやすい時期ですが、油断して交通事故を起こさないように気をつけましょう。

今回は、コンプラ違反をしてでも定時で終わらせるか、コンプライアンスを守り安心安全業務をして超勤か、について取り上げてみます。

先ずは、前者について取り上げます。呉郵便局

集配部の仕事は、午前7時50分から始まりまだ時間にもなっていないのに始業前着手をしている社員を見かけます。まあ1秒でも早く出たい気持ちは分かりますが、時間前着手は自分の首を絞めるだけなのでやらないほうがマシだけど、少しでも早く道順組み立てを終わらせて早く出たくてイライラするんやろ

うなあって感じてます。

更に、今の時期、会社の経営は不景気なうえに新入社員やアルバイトを募集しても入って来ないし、ベテラン社員は定年退職する人も多かったです。人員が足りていません。郵便物数が減少しているから減区していると言いますが、実際は人員不足による減区が常態化しているのも事実です。

しつけています。現場に一番近い部長や局長は、時間前着手や休憩時間を削っての配達について見て見ぬふりをしているのではないかと皆は囁いています。

因みに焦って仕事をしているのも、交通事故や誤配達・誤転送・誤還付も増えることはあっても減ることはありません。

逆に後者は、定刻時間になつてから作業に取りかかるから、慌てることなく丁寧な仕事をします。誤区分も少ないので必然的に誤配達も防ぐことができます。

休憩時間は多少ずれるはあるかもしれないが、きつちり1時間は取るし、もし時間内に終わらなければ、超勤で対応し、状況に応じて配りきれなかった郵便物は持ち帰りまです。時間に追われず無理のない運転をするので交通事故も防ぐことができます。交通ルールも遵守できます。

郵便物数に応じて減配置や増配置をするのとこのですが、闇残業を把握していない会社は、仕事量を把握する能力があるとは到底思えません。赤字の原因は、会社の情報収集能力・分析力・客観視の欠如に他なりません。不適正点呼問題で明らかになったように、会社の杜撰な管理能力こそ改善しなければいけない最優先事項だと思います。安全ってどうやったら手に入るか知ってます？

今後の予定

- 11月10日(火) 17:00～
第3回呉支部執行委員会
支部事務所
- 11月27日(金) 18:00～
呉支部忘年会
詳細は後日